

令和7年度 日置市教育委員会定例会(11月)

- 日 時：令和7年11月19日（水） 午後3時30分～午後4時30分
- 場 所：日置市中央公民館 研修2・3（3階）
- 出席者：奥教育長
委 員：中島委員・内村委員・鵜木委員・中川委員
事務局：東（事務局長兼教育総務課長）・段原（学校教育課長）
入佐（社会教育課長）・内田（東市来支所教育振興課長）
坂上（日吉支所教育振興課長）・大迫（吹上支所教育振興課長）
宮前（教育総務課長補佐）

1 開会

奥教育長： 日置市教育委員会11月の定例会を開会します。

2 前回議事録の承認

奥教育長： 前回10月の議事録の承認をお願いします。変更や修正等はありませんか。

（特になし）

よろしかったでしょうか。

（異議なし）

それでは、10月の議事録は承認とさせていただきます。

【前回の議事録承認】

署名・押印は、中川委員と中島委員にお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

奥教育長： 委員及び教育長の報告です。中島委員、お願いいたします。

中島委員： 先月の定例会以降の出席について、ご報告いたします。前回の定例会は、私用により欠席となり、お詫び申し上げます。

10月25日は、日置市市制施行20周年記念式典が伊集院文化会館で行われましたので、出席させていただきました。岐阜県の大垣市、関ヶ原町、滋賀県の大津市、北海道の弟子屈町、始良市、南

大隅町など県内外から来賓を招いて行われました。

オープニングでは関ヶ原鉄砲隊、薩摩日置鉄砲隊による共同の演舞が外庭で行われ、その後、ホールで日置市ジュニアオーケストラによる演奏がありました。

続いて、功労者の表彰があり、地方自治、教育文化、産業経済の部門より、市制の発展のために尽力いただいた方々へ表彰が行われました。

永山市長のあいさつでは「平成から令和に移り、第3期の総合計画を策定中ですが、将来的に人口が大幅に減少する中、歴史と文化をより一層後世に繋げるために、子ども達を真ん中にした安全安心な住みよい町づくりに努めていきます。これまでの先輩方が残してくれた多くの歴史・行事・文化を絶やすことなく繋ぎ、しっかりと次の世代に引き継いでいきたい」と話されました。

午後は施行20周年記念、妙円寺詣り行事大会の2つの行事に出席いただいた親善使節団の方々を迎えて、交流会が行われました。

市長のあいさつの後、西脇関ヶ原町長、青木多賀教育長、石田大垣市長、徳永弟子屈町長、親善使節団代表のあいさつがあり、出席者の紹介がありました。

前回、私が多賀町へ親善使節団として派遣された際、多賀町でお世話になった方も来られていたので、改めてお礼を伝え、4カ月ぶりに再会して語らいを深める時間を持つことができました。

11月7日は、令和7年度日置市小中義務教育学校音楽発表会が伊集院文化会館で行われましたので、出席させていただきました。今回は午前・午後の2部構成となっておりましたが、私は午前の部だけ出席させていただきました。

教育長より「日頃の練習の成果をここで元気いっぱいに表示してください。また、発表は演者と聞き手によって成功します。是非演奏が終わったら、大きな拍手をしてください」とあいさつがあり、土橋小児童4名の開会の言葉で会が始まりました。

和田小学校全校児童18人による竹太鼓2025の演舞では、孟宗竹の音色がホール内に響き、前回聴いた時よりも演奏内容が変わって迫力があり、小学校1年生の児童も元気に演舞している姿が印象に残っています。

午前中は小規模校が中心の発表でしたが、小規模校が20人程度と少ない中で、伊集院小学校4年生5クラス154名の歌声がホール内に響く様子は圧巻でした。

東市来中学校吹奏楽部10人は、3年生が抜けて少人数ではありましたが、一人一人のパート楽器の音色も良く、しっかりと演奏され、まとまりがあり、見ていた小学生も吹奏楽に憧れを抱くのではないかと思いました。

保護者の来場も多く、伊集院高校前田礼子先生の講評では「今日の発表会に向け、音楽の時間や休み時間などに練習した成果が、ここで十分発揮され、素晴らしい発表の場となりました。指導していただいた先生や、応援してくださった保護者の方々にも感謝申し上げます」と敬意を表され、「人数や学年に関係なく、頑張った成果から一人一人の努力が伝わり、素晴らしい発表となった」と付け加えられました。

11月12日の伊集院北中学校、18日の土橋小学校の学校訪問は、私用及び体調不良により欠席させていただきました。以上です。

奥教育長： ありがとうございます。鵜木委員、お願いいたします。

鵜木委員： それでは報告させていただきます。

10月23日は、第71回九州地区へき地・小規模校教育研究大会及び第49回鹿児島県へき地・小規模校教育研究大会の学校別分科会で美山小学校に行き、公開授業「ひおきふるさと教育」の授業を参観しました。

公開授業は、単元名が「再発見 美山の魅力!! ～陶芸を楽しもう、知ろう、理解しよう～」で、4つの窯元の方を講師に招き、児童が4つのグループに分かれて、手びねりでカップを作ったり、お皿に絵付けをしたりする活動を行いました。また、美山という土地柄から小学校では窯元から提供されたお茶碗で学校給食を実施していることもあって、タイムリーな題材であると思いました。

活動に入ると、手びねりのグループは、あらかじめ紙粘土で作成していた作品を参考にプラスチックのコップを新聞紙で包み、それをたたらに伸ばした粘土で巻いて成形し、つなぎ目をドベで接着して底を張り付けるのですが、教師が手助けをする場面を多く目にしました。指導案では「班内の児童で教え合うように声を

掛ける」とか「活動がスムーズに進まない児童に対しては窯元さんにアドバイスをもらうように声を掛ける」と書かれていたのですが。最後はカップに持ち手を取り付けるのですが、どこに付けると使いやすいかについては、窯元さんのアドバイスが大いに役立ちました。

絵付けをするグループは、紙皿に自分の好きな下絵を描いておき、それを参考に本物の皿に釉薬8色を使い分けて、絵付けをしていきました。でき上がった作品は炎舞陶苑さんが窯入れして後日子ども達の手元に届くとのことでした。

後半は、開会行事と研究発表及び質疑応答、意見交換が行われました。

26日は妙円寺詣り行事大会に出席しました。こちらは後ほどお二人の委員から詳しく述べていただきたいと思います。

31日は、いちき串木野市と日置市の合同中学校英語弁論大会に行きました。両市にある公私立合わせて13校からトピックトークの部と弁論の部に代表の26人が参加しました。

初めに開会のあいさつで、いちき串木野市の相良教育長が「合同での開催は4回目になる。急速に国際化が進み、外国人が増えグローバル化で英語は不可欠な言語となっている。2050年頃には多文化・多言語化で色々な民族の方が共存し、外国語を用いたコミュニケーションが拡大することが予想される。今から160年前に19人の薩摩留学生がここ羽島からイギリスへ旅立った。異国の文化に触れ学んだことを生かして、日本の近代化に大きく貢献した。皆さんも学校や日常生活の中で英語を学び、それを生かして将来国際社会で頑張ってもらいたい。そして世界へ羽ばたく人となることを期待したい」と述べられました。

最初に行われたトピックトークの部では、「マイドリーム」というテーマで、13人の生徒達が将来の夢や希望を語りました。身振り手振りを交えたり、表情豊かに表現したりする姿を見て、我々の学んでいた頃の受験英語から脱皮して、英語がコミュニケーションツールとして確立してきているなと感じました。また、発表後にALTから質問されても、よどみなく答える姿が印象的で、今年は質問を聞き返す生徒は一人もいませんでした。

弁論の部では、チアリーディングの国際大会に出場した経験や

ヘリコプターのパイロットを目指していること、人の命を救う消防士を目指して頑張っていること、黒島で牛を世話した経験を基に、私達が口にしている食べ物は他の生き物の命によって支えられていること、フィリピンでスラムに生きる子ども達と接した経験を基に、英語をもっと勉強して彼らの役に立つ仕事をしたいなど、中学生ながら素晴らしい考えをもっていることに感心しました。

審査の結果、トピックトークの部の最優秀賞は串木野西中、優秀賞は神村学園、優良賞は串木野中の生徒が獲得しました。また、弁論の部の最優秀賞は串木野西中、優秀賞は羽島中、優良賞は吹上中の生徒が獲得しました。

講評で、鹿児島教育事務所の永田指導主事が「レベルの高い発表で、審査の調整が難しかった。トピックトークの部のマイドリームでは、真剣に考え、人との関わりやコミュニケーションを大切にしているという思いが伝わる。弁論の部では、経験や体験をバックボーンにして、現代社会に関わる内容や友達との思いを真剣に語ってもらった。これからも間違いを恐れずに学び続けてほしい。皆さんには世界へ羽ばたく人材となってほしい。目と目を見て会話することが自信に繋がり、コミュニケーションが深まると感じた。さらに3年生は受験に向かって頑張ってもらいたい」と励まされました。

閉会のあいさつで奥教育長が「日置市といちき串木野市が合同で開催するようになって4回目の開催となり、素晴らしい内容のある発表であった。ここに集まった皆さんは再び上級学校で出会うかもしれないので、今日の出会いを大切にしてほしい」などと述べられました。

11月2日は、飯牟礼小学校と伊集院北小学校の運動会に行きました。最初に行った飯牟礼小学校のスローガンは「燃え上れ赤光り輝け白 紅白ともに完全燃焼 ～頑張れ飯牟礼っ子 ゴールまで突き抜ける!!～」で、プログラム1番「エール交換・役員入場」から全学年のかけっこ、短距離走を含め8番の「輝け飯牟礼戦隊ロクレンジャー7!!」までを応援しました。

伊集院北小学校ではプログラム6番の「表現ダンスホール」から学年種目や2年生のかけっこと5年生の短距離走を含めプログ

ラム11番までを応援しました。地域対抗の「目指せ！ホールインワン」では来賓チームとして参加させてもらいました。

5日は、鹿児島県の教育県民週間で日吉学園を参観しました。期間中に動きのとれる日がこの日しかなく、小学校と中学校を同時に参観できるという観点から日吉学園を選びました。校舎に入ると、ちょうど2時間目が終わったばかりだったので、廊下で多くの児童生徒から「こんにちは」と挨拶をしてもらいました。

3時間目の授業を参観しました。教室は落ち着きがあって学習環境も整い、よい授業風景が見られました。過去に参観した学校では、それほど多くの保護者等が参観に訪れていたという印象はありませんでしたが、日吉学園には私が滞在していた時間までに17人の保護者等が参観に訪れていました。町唯一の学校という特性から、地域や保護者の関心が高いのだろーうと思いました。

7日は日置市合同の音楽発表会に行きました。中島委員が先程、午前の部を紹介されましたが、私は午前中は所用があり動けなかったもので、午後の部の前半に出場した5校の合唱と合奏を聞かせてもらいました。この中で特に印象に残ったのは、伊集院北中の合唱で指揮をした関野さんのタクト裁きでした。全身を使ってタクトを振り、特に左手の使い方がプロの指揮者のように巧みでした。

11日は、小学校の陸上記録会が予定されていましたが、あいにくの雨天で中止になりました。

12日は伊集院北中学校を訪問しました。北中は生徒数約300人、教職員30人の中規模校で、学校経営や生徒指導等の観点からもまとまりを保ちやすい学校規模であると思いました。

校長の学校経営説明の中で、確かな学力の保障のために、評価・評定方法をスモールステップのポートフォリオ式に改定するとともに、授業における指導と評価の一体化を図り、学び直しとチャレンジテストを導入するなど、斬新な取組を進めているところに興味をもちました。

また、生徒指導の面においても、指導が困難な生徒4人の実例を挙げ、保護者と連携しながら教育的配慮の下で取組を進めていることも理解できました。

気になるところでは、小学校でも体力づくりの取組を推進して

いるはずですが、新1年生の体力が男女共に県平均を下回っていることです。学校には、学校独自の取組をお願いしました。

15日は、伊集院地域子ども会大会に参加しました。この大会は、合併前の伊集院町時代に子どもの健全育成のために開催された大会であることを会長のあいさつで知りました。併せて「鹿児島には昔から先輩が後輩を育てる『郷中教育』があり、この精神を日置市でも大切にしていきたいので、日置版郷中教育を掲げ取り組んでいる」と教育長が述べられました。この日は、日吉地域、吹上地域でも同時に開催されているとのことでした。

大会では、初めに多賀町との交流体験発表があり、今年7月に多賀町から交流でやってきた子ども達を受け入れ、8月に多賀町を訪問した児童生徒の代表3人が、思い出に残る様々な交流体験を発表してくれました。

続いて、麓東子ども会と恋之原子ども会が活動発表を、郡上子ども会と妙円寺2区子ども会がパネル展示をしてくれていました。最後は、全体でレクリエーションを行い、楽しい雰囲気の中で閉会しました。

18日は土橋小学校を訪問しました。土橋小学校は児童数29人、教職員13人の小規模・複式の学校ですが、授業参観を通してロイロノートやタブレット端末を利用して、自主的な深い学びが実践されていると感じられました。結果として学力についても比較的高い結果が示されるなど、小規模・複式学級の強みがあらゆる部分で発揮されていることを確認することができました。

土橋中学校との間で小中一貫教育を実践しており、学校教育目標の「心豊かで確かな学力とたくましく生きる力をもった子供の育成」に向かって、地域を挙げて様々な取組を実践して成果に結びつけていることも理解できました。

本年度最後の学校訪問となりましたが、締めくくりを務めるに十分な学校経営の在り方を目にする事ができたところです。

なお、11月1日に行われた伊集院小学校と妙円寺小学校の運動会は体育大学の学園祭で行われる破魔投げ大会への協力要請があったため失礼させていただきました。

また、25日の日置市市制施行20周年記念式典につきましては、先程中島委員が報告されましたので、割愛させていただきます。

以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。中川委員、お願いいたします。

中川委員： 報告させていただきます。

10月25日は、午前中に日置市市制施行20周年記念式典に参加いたしました。中島委員のご報告と重複しますので、詳細は割愛させていただきます。

午後からは、吹上地域文化祭の作品展示を鑑賞いたしました。吹上町内のこども園、小中高生による作品や、グループによる出展を楽しませていただきました。

10月26日は、午前中に妙円寺詣り行事大会開会式に参加いたしました。会場は日置市伊集院総合体育館で、前日の日置市市制施行20周年記念式典に続き、姉妹都市のご来賓の皆様もご臨席のもと、陣羽織姿で選手の皆様の活躍を祈念いたしました。

午後からは吹上地域総合文化祭開会式に出席いたしました。所用のため開会式のみ参加となりましたが、少し緊張した面持ちで出番を待つ児童や、華やかな衣装を身につけた方々が、日頃の練習の成果を発揮するために集い、会場を盛り上げておりました。

11月1日は、伊集院小学校運動会に参加いたしました。日置市市制施行20周年記念ということで、多数の来賓、保護者が見守る中、直前までの不安定な天気を吹き飛ばすように開会式までには晴天となりました。

開会式では800人を超える児童による校歌が力強く斉唱されて、その迫力に元気をもらいました。児童数も多く、子ども達の体調にも気を配りながらの進行にはご苦労も多いかと思いますが、先生方や保護者の皆様の連携でプログラムは滞りなく進められていて大変感心いたしました。

11月1日から7日は教育県民週間ということで、5日に伊作小学校、吹上中学校、6日に永吉小学校、花田小学校、和田小学校を訪問しました。学校訪問とはまた違った自然な雰囲気、学びに取り組む普段の児童の様子を見ることができました。

各校では地域の方の参観も見られ、地域との繋がりも感じられました。

11月9日は、吹上地域駅伝大会を参観いたしました。各地域の

代表が、忙しい毎日の中練習を続け、本番に臨んでおりました。コースの沿道には、たくさんの地域の方が応援に駆けつけて、選手みなさんに温かい声援を送っていました。

11月12日は、伊集院北中学校、11月18日は土橋小学校を訪問いたしました。鶴木委員のご報告と重複しますので、割愛させていただきます。

11月15日は、吹上地域子ども会大会に参加いたしました。和田地区、吹上地区の子ども会活動及び東市来・日吉・吹上地域ふるさと学寮の発表が行われました。子ども会活動では地域で集まり、地域の方とも交流しながら、様々な活動を行っていることが報告されました。

吹上地区の子ども会活動は、入来や今田など自治会ごとに行っていた育成会活動を、少子化により吹上地区として行うようになって数年経過しているそうですが、それでも参加人数が少なく中止になる行事もあったようです。

ふるさと学寮に参加した児童の発表では、自分がいかに周りの方達に支えられて過ごしているか気づき、感謝の気持ちを持てたり、新しい友達ができたり、とても充実した様子が伝わってきました。

創作活動では、吹上町の砂や松ぼっくりなど自然の素材を使用したクリスマスリース作りを行いました。参加した子ども達は、時間が足りなくなるほど熱中しておりました。私も参加させていただきましたが、講師の方がたくさんのパーツを準備してくださり、あえて見本を見せずに子ども達の発想を促す工夫を凝らした進行で、とても楽しい時間を過ごさせてもらいました。司会は担当地域の中学生が行い、年長者らしいしっかりとした態度でスムーズに進行をしてくれました。

残念だったのは、参加の子ども達は発表地域の子ども達ばかりだったことです。インフルエンザが流行していることも影響したかもしれませんが、私の地域の育成会では事前の参加呼びかけに対し参加者はおらず、他の地域も同様だったようです。発表から学んだり、創作活動で他の地域の子どものとの交流も図られますので、参加者がもっと増えてもらいたいと感じることでした。

最後になりますが、前回の定例会で日置市で実施しております

ペアレントトレーニングの見学についてのご報告と、日置市内の各学校への周知についてお願いをさせていただきました。定例会後に奥教育長から、来年度実施の際は案内を検討いただけるとお話をいただきまして、大変ありがたく思いました。

担当の福祉課に確認したしましたところ、来年度の実施が決定し、詳細を計画中とのことでした。ぜひ担当課と連携し来年度の各学校への案内を進めていただけますよう重ねてお願いいたします。今後も子どもを真ん中に、保護者、学校、福祉の支援の輪が強く固く繋がっていくことを期待いたします。以上です。

奥教育長： ありがとうございます。内村委員、お願いいたします。

内村委員： 報告させていただきます。

10月23日は、午前中に九州地区へき地・小規模校教育研究大会鹿児島大会で花田小学校を訪問しました。3・4年生の算数の授業参観後に、九州各地から参加された熱心な先生方との意見交換がなされました。

複式学級のメリットとして、個に応じたきめ細やかな指導ができること、学級内の一人一人の存在感が大きいこと、ペア学習・グループ学習・ガイド学習と多様な表現で、自主的・協働的な学習に繋がることなどが発表されました。ガイド学習については、進め方や打ち合わせ方法について、色々と質疑が交わされました。

10月23日は、昼からの第2回日吉学園運営協議会に出席しました。松元学校長より1学期を振り返り、不登校者で教室に入れない生徒を、保健室から旧パソコン室に入れるようにし、部屋名も生徒に決めさせて「デイリー」と名付け、その部屋で生徒と先生が対話を繰り返しながら、最終的には通常教室に通えるように計画を立てていますと言われました。

また、ふるさと学習については、各地区公民館から内容がマンネリ化にならないように、日々、学園側と協議していきたいとありました。

10月25日の日置市市制施行20周年記念式典は、委員の方が報告されましたので割愛しますが、当日の15時50分から徳重神社境内において、吉利中区太鼓踊りが奉納されましたのでそちらに参加しました。

平太鼓16人中、中学生2人、小太鼓3人の小学生が、大人と一緒に日頃の練習の成果を遺憾なく発揮して、満員の観客からたくさん拍手と声援が送られました。児童生徒にとっては、多くの市民の前での太鼓踊りが無事に終わった安心感と、やればできるんだという自己達成感、自己有用感を強く感じたと思います。

10月26日の妙円寺詣り行事大会も委員の方から報告がありましたが、徳重神社境内の相撲場では、伊集院地域の伊集院小学校11人、飯牟礼小学校6人の合計17人の小学生が、自分の学校の名誉をかけて土俵上で熱戦を繰り広げ、指導の先生や保護者、応援の観衆から声援や拍手が鳴り響きました。

個人戦は17人全員が対戦し、優勝は6年生男子で、2位・3位は女子が独占して、観衆から賞賛の声援と拍手が鳴り響き、祝福されました。

10月30日は、日吉学園の文化祭を鑑賞しました。午前中は6年生22人、7年生26人、8年生25人、9年生28人の各学年の合唱で進み、それぞれの素晴らしい歌声に感動しました。

その後、ふれあいコンサートでは、プロの女性バイオリン奏者とピアノ伴奏による演奏会が始まり、素晴らしい音色に児童・生徒も固唾を飲んで集中して聴いていました。一流の演奏に触れることで、子ども達の情操教育に大きく寄与するだろうと思いました。

昼からは、生徒会本部役員によるセレモニーで始まり、明日の中学校英語弁論大会に出場する2人の男女生徒が、英語弁論を発表しました。

その後、吹奏楽部による演奏があり、各学年の発表がありました。7年生のふるさと再発見では、日置市の魅力の歴史、食文化、観光を調査した結果を発表しました。

次は8年生による群読劇「あの日・・・そしてこれから」でした。1940年に太平洋戦争が始まり、1945年8月6日に広島、8月9日には長崎にも原子爆弾が投下され、被爆した家族4人の惨状を生々しく表現し、当たり前の日常が突然なくなり、いかに平和が大切かを問いかける素晴らしい劇を発表しました。

最後は9年生による独創的なダンス発表でした。会場の観衆と一体となって創造する喜びを表現し、大いに盛り上がり、9年生

にとって悔いのない最後の文化祭になりました。会場は平日にも関わらず、多くの保護者が参観して、児童・生徒と一体となった文化祭になりました。

11月2日は、午後から日吉地域文化祭を鑑賞しました。11月は「文化芸術に親しむ月間」で、日吉地域の方々が日頃の練習の成果を発表されました。

1番目は日吉学園吹奏楽部8人による吹奏楽演奏で、明るい雰囲気ですターしました。その後は日本舞踊や合唱、カラオケ、ハーモニカ、フラダンスと続き、高齢者の方々が元気に舞台に立たれる様子を見て、とても嬉しくなりました。最後は日吉学園前期生・後期生一緒の合唱で幕を閉じました。

11月5日は、第3回日吉学園学校運営協議会に出席しました。まず、給食試食会で始まり、鹿児島市明和まちづくり協議会との意見交換をしました。

鹿児島市明和地区は少子高齢化の波を受け、小中学校の児童生徒数の激減に危機感をもち、魅力ある義務教育学校の創立に向けて協議会を設立しており、先進地の日吉学園の見学と、日吉学園開園までの経緯と問題点について意見交換をしました。その後、各学級の授業参観をしました。

11月15日は、日吉地域子ども会大会・読書大会に出席しました。当日は子ども46人、大人27人の合計73人が参加しました。開会行事の進行は、全て子ども会メンバーが行うのが定着化しており、子ども達が自主的に進行している様子を見て嬉しく感じました。

続く活動発表では、2つの子ども会が年間の活動の様子を発表しましたが、子ども会と地域の自治会等の連携がよくなされており、色々な行事に子ども会が参加していました。地域の方々から日頃から見守られ、安心安全な地域に住んでいることで、地域を愛する郷土愛が育まれることなのでしょう。他に多賀町青少年交流事業の参加者、南大隅町青少年交流事業の参加者の発表がありました。

読書大会では、後期生が読書の中で感動した文章の「私の一行」を解説しながら発表しました。次に講師を呼んで、折り紙で遊ぼう体験をしました。最後にレクリエーションで大型ジェンガ

に挑戦して高さを競いました。

11月18日の土橋小学校訪問、11月12日の伊集院北中学校訪問等につきましては、各委員が報告されましたので、私からは割愛いたします。以上です。

奥教育長： ありがとうございます。

私からは、委員の皆様と全て重複しておりましたので、今回は割愛させていただきます。

4 議事

【議案第5号 令和7年度日置市一般会計補正予算（第8号）の市長への意見具申について】

奥教育長： 議案第5号令和7年度日置市一般会計補正予算（第8号）の市長への意見具申について提案をお願いいたします。

東局長： 資料は1ページになります。議案第5号令和7年度日置市一般会計補正予算（第8号）の市長への意見具申について、意見を求められましたので、2ページのように、原案のとおり同意すると回答するものです。

この補正予算は、12月定例議会が明日開会されますので、明日提案されることになります。

次に補正予算の内容ですが、補正予算(案)説明資料で説明いたします。今回の補正予算は教育費関連では、指定寄附金の受け入れに伴う日吉学園の備品購入費と、並びに執行見込に伴う中央公民館・市立図書館の光熱水費等の補正が主なものでございます。教育費全体としては270万8,000円を増額するもので、補正後の額を24億8,431万6,000円とするものでございます。

説明資料の3ページをお願いします。上から3番目の15款01項03目教育費国庫負担金で14万8,000円の減額計上でございます。子育てのための施設等利用給付交付金の執行見込に伴うもので、同じページの一番下、16款01項04目教育費県負担金7万4,000円の減額計上も、国、県双方から負担金を頂くもので、補正の減額の理由としては同じ内容になります。

5ページをお願いします。真ん中より下ですが、17款01項01目財産貸付収入142万8,000円の減額計上でございます。これは教職員住宅の用途廃止に伴い、貸付収入が減少したものでございます。

6 ページをお願いします。一番下ですが、18款01項02目指定寄附金227万9,000円の増額計上の内、日吉学園に対するものとして100万円の計上です。これにつきましては、後ほど歳出で説明するものの財源となります。

次に歳出でございます。7 ページをお願いします。一番下の10款01項02目事務局費、02節給料及び04節社会保険料は人件費の補正でございます。合わせて14万4,000円を増額計上しております。

8 ページです。08節旅費は弟子屈町との姉妹都市交流事業の事業費の確定に伴い58万4,000円を減額計上いたしました。

24節積立金では、学校教育施設整備基金において預金利率の上昇に伴い1万2,000円を増額計上いたしました。

02項小学校管理費でございます。02項01目は人件費の補正として、共済費の1万4,000円を増額計上しております。

02目教育振興費では、歳入で説明いたしました指定寄附金を財源とした日吉学園の前期課程への図書購入費として30万円を増額計上いたしました。

03項01目中学校管理費でございます。まず人件費の補正として共済費5万5,000円の増額計上、18節負担金、補助及び交付金では、これも寄附金を財源とした体育文化事業補助金40万円を増額計上いたしました。

9 ページになります。02目教育振興費、これも寄附金を財源として、日吉学園後期課程の図書購入費30万円を増額計上しております。

04項01目幼稚園費でございます。人件費の補正として共済費4万2,000円の増額計上及び歳入で説明しました子育てのための施設等利用給付事業費の執行見込に伴い30万円を減額計上しております。

入佐課長： 社会教育課です。

同ページ中段程、05項01目社会教育総務費と03目図書館費で人件費の補正として、04節共済費14万2,000円と40万円を増額計上しております。

また、02目公民館費と一番下の03目図書館費では執行見込により電気料の不足の恐れがあるため、10節需用費、光熱水費で82万4,000円と72万5,000円を増額計上いたしました。

10ページをお願いします。05目文化財費と次の06項01目保健体育総務費の人件費の補正として、04節共済費7万1,000円と7万3,000円を、03節職員手当等9万円を増額計上いたしました。

東局長：次に03目給食センター費です。10節需用費、修繕料では伊集院学校給食センターの調理機器の修繕として30万円を増額計上し、執行見込により同額を消耗品費において減額計上するものでございます。以上で説明を終わります。ご審議よろしくお願いいたします。

奥教育長：ただ今説明がありました令和7年度日置市一般会計補正予算(第8号)につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは議案第5号は、原案のとおり議決とさせていただきますよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは議案第5号は、原案のとおり議決いたします。

【議案 第5号 議決】

5 その他

(1) 事務局長

(2) 学校教育課長

(3) 社会教育課長

(4) 各支所教育振興課長

ア 東市来支所長教育振興課長事務取扱

イ 日吉支所教育振興課長

ウ 吹上支所教育振興課長

(5) その他

6 閉会

奥教育長：それでは日置市教育委員会11月の定例会を終了いたします。

終了

署名委員

内村友治

署名委員

新木親忠